

# 令和5年度 自己評価報告書

令和6年5月

学校法人山陽女学園 広島歯科技工士専門学校

評価対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

## 目 次

1. 学校の教育理念、教育目標	2		
2. 評価項目別達成取り組み状況			
基準1 教育理念・目的・育成人材像	3	基準8 財務	12
基準2 学校運営	4	基準9 法令等の遵守	13
基準3 教育活動	5、6	基準10 社会貢献・地域貢献	14
基準4 学修成果	7		
基準5 学生支援	8, 9	3. 評価項目別の評価結果	15
基準6 教育環境	10	4. 令和5年度 重点目標達成についての総合的な評価結果	16, 17, 18, 19
基準7 学生の受入れ募集	11	5. 令和6年度 重点目標と達成計画	20, 21, 22

### ※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取り組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。
- 1 全く対応しておらず不適切、学校の方針から見直す必要がある。

## 1. 学校の教育理念、教育目標

本校は、『未来に輝く人材を育成する』という理念を教育目標に掲げる学校法人山陽女学園を母体とし、昭和47年に広島県で最初の歯科技工士養成学校として創立された。

### 〈教育理念〉

教育基本法、学校教育法および歯科技工士法の定めるところに従い、歯科技工に関する知識と技能を身につけ、歯科医師、歯科衛生士とともに歯科医療に貢献できる人材を育成する。

### 〈教育目標〉

1. 歯科医療従事者としての意識、心構えなどに関わる知識を習得する。
2. 歯科技工の基礎知識と技術を身につける。
3. 実学を重視した実習指導を推進し、即戦力となる人材を育成する。
4. 地域の社会福祉に貢献できる人材を育成する。

## 2. 評価項目別達成取り組み状況

### 基準1 教育理念・目的・育成人材像

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	*学則に定めている。 *教育目的を明確にするため校名を変更した。
2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	*学則、学校案内において特色を明確にしている。
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	*教育課程編成委員会における提言を参考にして、教育方法や評価方法を見直している。 *企業と連携して実践的な歯科技工士教育の充実を図っている
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生や保護者等に周知されているか	4	*入学時に「学生便覧」を配布、説明をして周知をしている。 *10月の保証人（保護者）懇談会に変えて、学校の現状報告書を送付し周知した。個人面談は希望者に実施した。 *育成人材像を学生に認知させる為に、1年の11月に臨床現場である歯科技工所の見学を実施した。
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4	*今後の社会のニーズに即応して適宜改定していく。 *企業アンケートを実施した。方向性の参考にする。
【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1			
特記事項 参考資料	*広島歯科技工士専門学校学則 *学校案内 *広島歯科技工士専門学校ホームページ <a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a> *令和5年度 学生便覧		

基準2 学校運営

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	*学校法人山陽女学園の寄付行為のもと、運営方針が策定されている。
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	*事業計画については、各校及び法人本部で作成し、評議員会及び理事会で意思決定をしている。
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか有効に機能しているか	4	*学校法人山陽女学園全体の重要事項については、理事会・評議員会において意思決定を行っている。
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	*整備されている。 *就業規則、諸規定はファイルされ、教職員が閲覧可能となっている。 *諸手当について、規程を作成し明瞭にする。
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	*学校法人山陽女学園の運営組織（理事会・評議員会）によって整備されている。
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	*学校法人山陽女学園及び本校の諸規定のもと、法令順守に努めている。
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	*文部科学省の定めるガイドラインに基づき、学校のホームページにて情報公開している。 （自己点検・評価、学校評価（学校関係者評価委員会の開催実績、教育課程編成委員会の開催実績）、シラバス、職業実践専門課程の基本情報（様式4：認定後の公表様式））
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	*情報のシステム化は不十分であるが、業務の効率化を図るための見直しは、適時行っている。
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 山陽女学園「広島歯科技工士専門学校」2019～2023年の中期計画</li> <li>* 山陽女学園 令和4年度事業報告書、令和5年度事業計画書</li> <li>* 山陽女学園の寄付行為</li> <li>* 広島歯科技工士専門学校学則など諸規定</li> <li>* 学校運営組織図</li> <li>* 広島歯科技工士専門学校ホームページ <a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a></li> </ul>		

### 基準3 教育活動

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育課程編成委員会を開催して、教育課程の編成を見直している。</li> <li>*学内においても専任教員により見直しを行っている。</li> </ul>
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*学則及び学生便覧に明記し、学生・保証人（保護者）に示している。</li> <li>*学生の技術的能力の低下がみられ、実習課題を見直し削減している。</li> <li>*即戦力となるだけの技術だけでなく、基礎的な技術も不十分である。</li> <li>*授業開始前にシラバスを配布・説明し周知している。</li> <li>*デジタル技工の普及に伴い、2年間の修業年限では不十分と思われる。</li> </ul>
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育目標に沿って、実習体系を「基礎」「応用」「企業連携」と編成している。</li> </ul>
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*業界のニーズに合った実習教育を目標に、より実践的（臨床的）なモデルを使用している。</li> <li>*教育方法を毎年見直している。</li> <li>*実践と資格試験の出題基準のギャップを埋めることが出来ていない。</li> </ul>
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会を開催し、提言を頂き授業内容等の見直しをしている。</li> </ul>
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*企業連携授業を例年通り3社と実施した。</li> <li>*広島大学病院（歯科領域）見学実習を今年度から1年次に予定していたが、受講者はウイルス疾患等（麻疹、風疹、水痘、ムンプス、B型肝炎）に関する抗体価測定・ワクチン接種が必要なため中止した。次年度以降も実施しないことを決めた。</li> <li>*広島大学病院の見学実習の代わりに、歯科技工所の見学実習を11月に実施した。</li> <li>*歯科技工所でのインターンシップについては、8月に2社に分かれて全員が受けた。</li> <li>*歯科技工所見学についても全員が2社以上を見学した。</li> </ul>
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*授業アンケート調査を実施し、授業改善につなげる。</li> <li>*実習授業については、職員会議等で見直しを行っている。</li> </ul>
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*学校関係者評価委員会を年3回開催して外部評価を受けている。</li> <li>*外部評価について、卒業生（卒業後1年）の就業先の歯科医院や技工所へのアンケート調査を実施している。</li> </ul>

9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*学則に定めるとともに学生便覧、シラバスに明記し、学生・保証人（保護者）に示している。</li> <li>*履修規程の見直し、実技試験の採点基準を整備している。</li> </ul>
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*国家試験合格を目標に、十数回の模擬試験の実施と成績を開示し、目標達成の意識向上に心がけている。また、個別指導体制も進んでいる。</li> </ul>
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*CAD/CAM等、ニーズが増えている分野で教えられる人材が少ない為、本校の専任教員を対象に研修を行った。</li> <li>*大学、高校、専門学校等から実務経験のある教員を確保している。</li> </ul>
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなど、マネジメントが行われているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*実務経験のある教員を確保している。</li> <li>*優れた教員を確保するために、求人範囲を広げた募集を行うことを検討する。</li> </ul>
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*専任教員の多くが各種研修会に参加し、資質向上に取り組んでいる。</li> <li>*リモート開催の場合は参加しやすいが、対面研修の場合は時間や経費の捻出等で課題がある。</li> </ul>
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*全国歯科技工士教育協議会開催の「実技研修会Ⅱ」をリモートで受講した。</li> <li>*日本歯科技工士会主催「感染症予防講習会（10月15日）」のハイブリッド開催に、専任教員と学生全員が参加した。</li> <li>*全国歯科技工士教育協議会開催の「研修会」を受講した。</li> <li>*学内では、CAD/CAM及びホームページの勉強会を実施した。</li> <li>*リモート研修の開催が多くなり、参加しやすくなり専任教員の受講回数が増えた。</li> </ul>
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	*教員の学会、講演、その他の活動状況		

基準4 学修成果

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	就職率の向上が図られているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*進路面談を開催し、学生カルテの作成を実施しなかったため、次年度より実施するように努める。</li> <li>*学内合同会社説明会は中止し、10社から送られたポスターの掲示により紹介した。学生は、その後気になった会社を見学している。</li> <li>*10月末には全員の卒業後の進路が決まった。(内定15名、専修科2名合格)</li> </ul>
2	資格取得率の向上が図られているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*年間3回の歯科技工士国家試験の全国模擬試験を受験した。(9月、12月、1月)</li> <li>*家庭学習(国家試験問題の宿題)の取り組みを、1年次の後期から行っている。</li> </ul>
3	退学率の低減が図られているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*定員割れが常態化しており、入学希望者はほぼ全員が入学できる状態である。</li> <li>*休む事に抵抗がなく、学修意欲に欠ける学生が多いように思うので、学生に向き合うように努める。</li> <li>*学業不振、心に病を持つ学生に対し相談にのり、保証人(保護者)とも連絡をとりながら退学者の減少に、学校全体で取り組むよう努める。</li> <li>*1年次の退学者が多い。学業への意欲、興味を持たせる取り組みが必要である。</li> </ul>
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*新卒者の動向把握のために、同窓会を通してアンケート調査を実施しているが、<u>返信率が毎年2%である。</u></li> <li>*卒後1年の就業先に対して、就業状況のアンケート調査を1月に実施した。</li> </ul>
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*同窓会、歯科技工士会等との連携を深め、研修会等の実施を引き続き進める。</li> <li>*就業先の就業状況のアンケート調査結果を教育課程編成委員会で報告し、委員の提言を頂きながら改善に努めている。</li> </ul>
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	特になし		

基準5 学生支援

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*ハローワークより職業紹介業務の認可を受け、進路指導担当者置き体制はできている。</li> <li>*就職担当教員同士及び事務局間での連携が少しずつ出来ている。</li> <li>*提出書類について、教職員の全員が把握するようにする。</li> </ul>
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*学年担任制をとっており、学生の相談には親身に取り組んでいる。</li> </ul>
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*学納金の減免措置等はないが、2期に分納して一度の負担を軽減している。</li> <li>*今年度4月から高等教育の修学支援新制度の対象校となり、3名（1年1名、2年2名）が申請し、広島県より9月1日に学校に入金があり、年間2回に分けて学生に還付することとし、1回目は10月に2回目を令和6年3月に還付した。</li> </ul>
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*学校医（医師、歯科医師）を置き、毎年、胸部X線撮影、内科検診を行った。</li> <li>*歯科検診は令和6年2月28日（水）に実施した。</li> </ul>
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*新入生歓迎のレクレーション、遠足等を実施している。</li> <li>*「学生災害傷害保険」に加入し、学校行事における事故に備えている。</li> </ul>
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*専任教員が積極的に相談に乗っている。</li> <li>*山陽女子短期大学の専門のカウンセラーに、相談に乗って貰う体制はある。</li> </ul>
7	保護者と適切に連携しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*無断欠席の場合は、保証人（保護者）と学生に連絡を取り、状況の把握と相談に努めている。</li> <li>*10月28日（土）の保証人（保護者）懇談会は中止としたが、個人面談は開催した。</li> <li>また、学校の現状報告については書面で通知した。</li> </ul>
8	卒業生への支援体制はあるか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*卒業生に対する就職相談等を行う体制はできている。</li> <li>*各種証明書（卒業証明書、成績証明書、在籍証明書等）を発行する体制はある。</li> </ul>
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育訓練給付制度の「専門実践教育訓練」施設の指定を受けている。（令和5年4月1日～令和8年3月31日）</li> <li>・令和6年度入学予定者に申請者が数名いる。</li> </ul>
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行なわれているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*高校との連携による取組みは行われていない。</li> <li>*職業実践専門課程の情報公開をしている。（学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会の開催、及び企業と連携した授業の実施）</li> </ul>
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			

特記事項 参考資料	*学生管理台帳
--------------	---------

基準6 教育環境

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育機器については学生数に対して十分対応でき、故障等に対して授業に支障の無いように即時対応している。</li> <li>*歯科技工のデジタル化に伴い、CAD スキャナーの教育機器一式を整備している。</li> <li>*加圧鋳造機の修理をし、講義室のプロジェクターにHDMI の接続を可能にする。</li> </ul>
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*企業（歯科技工所3社）と連携した実習授業を計画し実施した。</li> <li>*歯科技工所でのインターンシップについては、8月に2社に分かれて全員が受講した。</li> <li>*2年生の研修旅行で、歯科材料企業を見学した。</li> <li>*1年生が11月に歯科技工所を見学した。</li> </ul>
3	防災に対する体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*学内において防災訓練（避難訓練、119番通報訓練、消火訓練、消火栓の使用方法、地震対策）を実施し、災害時には対応できるように備えている。</li> <li>*消防・防火設備の保守点検を業者に依頼し、毎年2回（8月、2月）実施している。</li> <li>*救命講習を11月6日（月）に実施した。</li> </ul>
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>*防災（防火）訓練計画書</li> <li>*防火管理維持台帳</li> </ul>		

基準7 学生の受入れ募集

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*改善会議を7回開催して募集活動の見直しを行い、訪問校の選定及び時期と回数等の見直しを行った。</li> <li>*高校訪問を5回（4月、5月、7月、8月、11月）実施した。</li> <li>*高校訪問時には事前に面会予約を取って訪問するようにしている。</li> <li>*社会人向けの募集活動について、これまでの「一般実践教育訓練」から、令和5年4月に「専門実践教育訓練」を取得したことを、ホームページ等で周知している。</li> <li>また、ネット広告を行った。</li> <li>*ホームページをスマホ対応に修正・作製し、明快になったと思う。</li> </ul>
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*本校のホームページ、高校訪問、学校案内等で伝えている。</li> <li>*教育成果としては、国家試験の合格率、就職状況等について広く正確に伝えている。</li> <li>*ITを活用した募集活動を計画性をもって行う。</li> </ul>
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*現在の物価状況等から、施設、専門機器及び設備の整備、人件費等の経費を考え妥当である。</li> <li>*近県の同じ技工士専門学校と比較しても同程度である。</li> <li>*機器・材料等の値上がりもあるので、学納金の値上げを検討する。</li> </ul>
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>*学校案内</li> <li>*学生募集要項</li> <li>*広島歯科技工士専門学校ホームページ <a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a></li> </ul>		

基準8 財務

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*経費削減に取り組み、毎年黒字化を実現し中長期的に財務基盤の安定化を目指している。</li> <li>*入学者の充足率が0.48と低迷している。定員確保の為に学生募集に力を入れる必要がある。</li> <li>*修学支援新制度（確認大学）の指定要件を満たしている。 （経営に係る要件：直近3年度全ての収支計算書の「経常収支差額」及び直前年度の貸借対照表「運用資産－外部負債」がプラスの必要がある。）</li> <li>*入学者の減少の為、中長期的に不安定といえる。</li> </ul>
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*学校法人会計基準に則り、適正に行われている。</li> <li>*予算計画は法人本部と調整し、評議員会、理事会にて承認され、概ね妥当と思われる。</li> <li>*広報活動費が膨らんでいる。</li> </ul>
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*山陽女学園の公認会計士による外部監査（年間約10回）、及び監事による財務監査が実施され、指摘事項があった場合には適切に是正措置を講じている。</li> </ul>
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>*財務諸表等の情報をホームページで公開している。</li> </ul>
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>*財務諸表（①事業活動収支計算書、②貸借対照表、③財産目録、④監査報告、⑤事業計画）</li> <li>*広島歯科技工士専門学校ホームページ <a href="https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp">https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</a></li> </ul>		

基準9 法令等の遵守

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	*教育基本法、学校教育法、歯科技工士学校指定規則、専修学校設置基準および歯科技工士法等の定めを遵守し運営している。
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	*学校法人山陽女学園の個人情報適正管理規定に則り、適正に対応している。 *学生、保証人（保護者）、非常勤講師等から個人情報を取得する場合には、使用目的を明確に伝え、使用後はシュレッダーにかけて破棄している。
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	*自己点検・評価を実施し、学校関係者評価委員会において報告のうえ、提言を頂き課題及び改善等を図っている。
4	自己評価結果を公開しているか	4	*自己評価の結果を6月からホームページにおいて情報公開している。
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 歯科技工士養成所指定規則</li> <li>* 専修学校設置基準</li> <li>* 歯科技工士法</li> <li>* 山陽女学園の寄附行為</li> <li>* 山陽女学園の個人情報適正管理規定</li> <li>* 授業料納入規定</li> <li>* 毒物劇物危害防止規定</li> </ul>		

基準10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 廿日市市主催の「歯のなんでも相談日」（6月11日開催）に参加し、歯科技工物の展示をした。</li> <li>* 地域の清掃活動を行う事を検討する。</li> <li>* 職業体験（五日市南中学生）の受入れを計画していたが、今年度は要望がなかった。</li> <li>* 学校の教育施設を使用しての貢献ができていないので検討する。</li> </ul>
2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 廿日市市主催の「歯のなんでも相談日」に参加した。</li> <li>* オープンキャンパスにおいて学生に支援を奨励している。</li> <li>* 広島市歯科医師会主催「おくちの健康展」の歯科技工士会ブースに、2年生の4名がボランティアとして参加した。</li> </ul>
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の委託等を積極的に実施しているか	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 義歯等に関する公開講座の開催を引き続き検討する</li> <li>* 中学生の職業体験の受入れ先として引き続きエントリーする。</li> <li>* 廿日市市の「桜まつり」「二百廿日豊年祭」への参加を検討する。</li> </ul>
<p>【評定】 適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	* 本校教職員の社会活動の状況		

### 3. 評価項目別の評価結果

基準1 教育理念・目的・育人人材像について、適切に実施されている。

基準2 学校運営について、ほぼ適切に実施されている。

基準3 教育活動について、ほぼ適切に実施されている。

基準4 学修成果については、ほぼ適切に実施されている。

基準5 学生支援については、ほぼ適切に実施されている。

基準6 教育環境については、ほぼ適切に整備されている。

基準7 学生の受入れ募集については、適切に実施されている。

基準8 財務については、ほぼ適切に実施されている。

基準9 法令等の遵守については、適切に実施している。

基準10 社会貢献・地域貢献については、やや不適切である。

#### 4. 令和5年度 重点目標達成についての総合的な評価結果

令和6年3月29日（金）現在

##### 1. 教育活動について

○出来ている △途中で ×出来ていない

	目標や計画	内容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	1) 病院見学実習	* 広島大学病院の見学実習	* 1年次に実施することに変更し計画したが、受講者はウイルス疾患等（麻疹、風疹、水痘、ムンプス、B型肝炎）に関する抗体価測定・ワクチン接種が必要なため中止した。令和6年度以降も実施しないことを決めた。	×
	2) 歯科技工所見学、インターンシップ	* 歯科技工所見学1社（1年生） * 歯科技工所見学2社（2年生全員参加） * インターンシップ（2年生全員参加）	* 1年の11月29日（水）に広島大学病院の見学実習に変更して実施した。 * 歯科技工所見学について、一人2社以上を見学した。 * 和田精密歯研㈱、㈱愛歯の2社からのインターンシップ参加の依頼があり、7～8月に学生全員が2社に分かれて参加した。	○
	3) 特別授業	①顎顔面補綴 ②審美歯科 ③歯肉材料（セラマージュ） ④サイレンサー ⑤インプラント、海外事情	* 顎顔面補綴：5月30日（火）に実施した。 * 審美歯科：検討したが日程調整ができず中止した。 * 歯肉材料（セラマージュ）：2月20日（火）に実施した。 * サイレンサー：検討したが日程調整ができず中止した。 * インプラント：1月24日（水）に実施した。	○
	4) その他 ① 歯科技工士国家試験対策	① 模擬試験（学説）の受験 * 医歯薬出版主催 1回 * 全国歯科技工士学校協会主催 2回 * 学内模試 2回 ② 学内模擬試験（実技） 複数回 ③ 個別指導	* 第1回全国模試：9月5日（火）に実施した。（全国歯科技工士学校協会主催） * 第2回全国模試：11月30日（木）に実施した。（医歯薬出版㈱主催） * 第3回全国模試：1月9日（火）に実施した。（全国歯科技工士学校協会主催） * 学内模試を2回実施した。 2月7日（水）と2月14日（水）に、本番（時間及び形式）を想定して実施した。 * その他、学内での学説模試、実技模試を複数回実施した。 * 個別指導についても実施した。	○
2	就職活動	* 就職アンケート * 就職個人面談 * 学内就職ガイダンス * 学内会社説明会 * その他	* アンケート調査を4月に実施した。 * 7月に実施した。 * 4月と5月に2回実施した。 * 6月1日（木）から説明会に変えて各企業のポスター掲示を行った。 * 今年度は、就職活動が早く10月末には全員が内定した。	○

3	その他 *新型コロナウイルス感染に対する学校の対策	*5月に5類に移行したため、通常の授業を行った。	*検温、手指の消毒等は継続している。 *1年の試験時期に数名の感染者が出たので感染拡大防止のため、3日間学年閉鎖し、試験日程を遅らせて実施した。 *2年生も国家試験1週間前に、感染者が出たので1日間は学年閉鎖とし、2日間は自由登校とした。	○
---	------------------------------	--------------------------	---	---

## 2. 入学生の確保

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内 容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	広報活動	*ホームページの充実 (情報発信)	*ホームページをリニューアルした。 *スマートフォン対応にした。	○
		*近隣地域へのポスター掲示依頼	*5月頃にスーパー、コンビニ、ホームセンター等に依頼した。	
		*進学ガイダンス (業者)	*4月20日 (木) さんぼう主催 (呉会場) に参加した。 *11月24日 (金) キッズコーポレーション主催 (廿日市西高校) に参加した。	
		*新聞広告	*実施していない。	
		*ネット広告の配信	*1月16日 (火)～25日 (月) までの10日間、配信した。	
		*SNSの活用 フェイスブック、インスタグラム	*実施している。	
2	高校訪問	*5回訪問 (1回に広島県55校、山口県13校)	*オープンキャンパスの案内に合わせて、4月、5月、7月、8月、11月に訪問した。 *訪問校は本校を受験しそうな高校にしぼり実施した。 *訪問校のクラス数、クラス人数、担任の名前、及び生徒一人ひとりへのチラシ配布が可能か聞き取り調査を行った。 *訪問前にはアポを取っている。 *チラシ配布が可能な高校には、クラス人数分を仕分け準備して高候訪問時に持参した。	○
3	歯科関係団体との連携	・広島県歯科医師会	*広島県歯科医師会に、オープンキャンパスの案内ポスターの掲示を依頼した。(7月)	○
		・広島県歯科技工士会	* (一社) 広島県歯科技工士会主催の第26回学生カービング コンテストに参加し、金賞、銀賞、銅賞を獲得した。	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島歯科技工所経営者協議会</li> <li>・全国歯科技工士教育協議会</li> <li>・全国歯科技工士学校協会</li> <li>・本校同窓会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*広島歯科技工所経営者協議会に、オープン キャンパスの案内ポスターの掲示を高校訪問時期に合わせて依頼した。</li> <li>*総会が5月26日(金)にリモートで開催され、新谷校長、宮田が参加した。</li> <li>*中国地区ブロック会議(島根)に宮田、木村が出席した。(10月29日(土)に対面開催)</li> <li>*第1回理事会が6月2日(金)に天候不良のため新谷校長は欠席した。</li> <li>*社員総会、第2回理事会が6月15日(金)に開催。新谷校長がWebで参加した。</li> <li>*第3回理事会が2月26日(月)に横浜で開催。新谷校長が出席した。</li> <li>*令和5年11月19日(日)に本校の創立50周年記念式典と同窓会発足50周年記念大会を共同開催した。</li> <li>*引き続き連携を継続する。</li> </ul>	
4	オープン キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>*第6回開催(年間7回予定)</li> <li>*夜間の学校説明会</li> <li>*個別見学</li> <li>*オンライン説明会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*新型コロナウイルスは5類に移行したが、引き続き感染防止のため、検温、消毒、机の間隔をとり開催した。</li> <li>*年間の参加者数は47名(内リピーター4名)であった。</li> <li>*夜間の学校説明会には1名の参加があった。</li> <li>*社会人対象の夜の説明会(開始時間18:00)を、参加しやすくするため、19:00開催が望ましい。</li> <li>*個別見学には学校行事等と調整し2名の参加があった。</li> <li>*参加者が見込めないため中止した。</li> </ul>	○
5	社会人の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育訓練給付制度の専門実践教育訓練施設に指定(令和5年4月1日～令和8年3月31日まで)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*令和6年度入学予定者に該当者が数名いる。</li> <li>*社会人の入学生が増えることを期待する。</li> <li>*受給要件により、教育訓練支援給付制度も併せて利用できることをアピールしていく。</li> </ul>	○

### 3. 業務の見直し

1	教職員の業務	*検討会の開催	*必要に応じて開催する。	△
---	--------	---------	--------------	---

### 4. 中途退学者の減少

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	学習意欲(モチベーション)の向上	*保護者(保証人)と連絡を取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>*10月28日(土)個人面談を開催した。</li> <li>*引き続き保護者(保証人)と連絡を取る。</li> </ul>	△

2	学業不振者への対応	*放課後の指導	*引き続き取り組む。 *試験不合格者に対して、個別指導を行うとともに、頻繁に家庭連絡を行っている。	○
3	心に病を抱えた学生への対応	*保護者（保証人）との連携	*引き続き取り組む。	△

5. その他

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内 容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	職業実践専門課程認定の継続 (機関要件)	*自己点検、自己評価	*10月に中間評価を実施した。 *3月に年間評価を実施した。	○
		*学校関係者評価委員会の開催 (年3回以上の開催)	*第1回：令和5年6月22日(木)に開催した。 *第2回：令和5年11月16日(木)に開催した。 *第3回：令和6年3月28日に開催した。	○
		*教育課程編成委員会の開催 (年2回以上の開催)	*第1回：令和5年8月24日(木)に開催した。 *第2回：令和6年2月15日(木)に開催した。	○
		*企業との連携授業（3社）の実施	*企業3社に講師の派遣を依頼し、連携授業を実施している。 ①株愛歯：9月22日(金)「全部床義歯（人工歯排列～歯肉形成）」「CAD/CAM」 ②和田精密歯研(株)：10月28日(金)「クラウンWax up」「歯型彫刻」 ③株オーラル・イノベーション：2月21日(水)「CAD/CAM」「口腔内スキャナー」	○
		*教員の実務研修の受講	*企業と連携して実施する専攻分野における実務研修	○
2	保護者懇談会及び個別懇談の開催	*毎年10月に開催	*令和5年10月28日(土)に、懇談会は中止したが個別懇談は開催した。 *学校生活の状況報告と成績、及び出席状況等の通知	△
3	学校名の変更	(新) 広島歯科技工士専門学校 (旧) 広島歯科技術専門学校	*歯科技工士の養成校であることをより明確にするため、令和5年4月1日より変更した。	○

## 5. 令和6年度 重点目標と達成計画

### (1) 教育活動

#### 1) 臨床現場の見学

- ① 1年：秋季に授業として歯科技工所見学（1社）の実施。
- ② 2年：夏季休暇中に2社以上の歯科技工所見学の実施。  
企業開催のインターンシップへの参加

#### 2) 特別授業

- ① 顎顔面補綴：愛知医科大学病院（医科技工士） 森下裕司先生
- ② 審美歯科：審美学会の派遣講師や他の講師
- ③ 「サイレンサー」：(株)スマートプラクティス代表 松田信介先生
- ④ 「セラマージュ」：(株)松風 沖本祐真先生
- ⑤ 「インプラント」：デンテックインターナショナル株代表 山下恒彦先生

#### 3) 国家試験対策

- ① 国家試験問題集（学説）の宿題の実施（1年生の10月から）
- ② 全国模擬試験の参加（全国歯科技工士学校協会主催2回、医歯薬出版主催1回）
- ③ 学内学説模擬試験の実施
- ④ 学内実技模擬試験の実施
- ⑤ 個別指導

### (2) 入学生の確保

#### 1) 広報活動の充実

- ① 入学生の目標人数を8割位とする。
- ② 新聞、ネット広告の検討
- ③ ホームページからの情報発信
- ④ 業者による会場形式の進学ガイダンスへの参加
- ⑤ 近隣地域へのポスター掲示依頼
- ⑥ SNSの活用

#### 2) 高校訪問の実施

- ① 専任教員が年間5～6回（4月、5月、6月、7月、8月、11月頃）の訪問。  
対象は、広島県（61校）、山口県（21校）

※訪問回数、訪問高校数、訪問地域の削減を前提に見直す。

3) オープンキャンパス等の開催

- ①年間8回の開催
- ②夜間の学校見学説明会の開催

③個別見学の実施

4) 高等教育の修学支援新制度（確認大学）の指定校の継続

- ①「職業実践専門課程」認定の継続
- ②機関要件の確保 ※次の3点いずれにも該当する場合は、対象機関としない。
  - a. 直前3年度全ての収支計算書の「経常収支差額」がマイナス
  - b. 直前年度の貸借対照表「運用資産—外部負債」がマイナス
  - c. 直近3年度すべての在籍学生が収容定員の5割未満

5) 歯科関係団体との連携

- \* (一社) 広島県歯科医師会                      \* (一社) 広島市歯科医師会
- \* (一社) 広島県歯科技工士会、                \* 広島県歯科技工所経営者協議会
- \* 全国歯科技工士教育協議会                \* (一社) 全国歯科技工士学校協会
- \* 本校同窓会                                      \* 廿日市市

6) 社会人の受け入れ

- ①「職業実践専門課程」認定の継続
  - \* 自己点検、自己評価の実施
  - \* ホームページへの学校情報の公表
  - \* 学校関係者評価委員会の開催（年3回以上）と報告書の公表
  - \* 教育課程編成委員会の開催（年2回以上）と公表
  - \* 企業連携授業の実施（3社以上が望ましい）
  - \* 企業等と連携して、教員に対し専攻分野における実務研修の受講
- ②教育訓練給付制度の「専門実践教育訓練」施設指定の継続
  - \* 現況報告の報告と公表（5月）

(3) 業務の見直し

専任教員による見直し検討会の開催（必要に応じて）

(4) 中途退学者の減少

- 1) 学習意欲の向上を計る。
  - ① 実習課題の見直し
  - ② 放課後の指導
- 2) 学業不良者への対応 (放課後の指導)
- 3) 心に病を抱えた学生への対応
- 4) 保護者との連携

(5) その他

- 1) 就職支援
  - ① 学内就職ガイダンス (就職担当教官)
  - ② 会社合同説明会開催の検討
- 2) 保護者懇談会、個人面談の開催
  - ① 例年10月の土曜日に開催
  - ② 学校の現状報告、成績表・出席状況の通知